



前列右より
仲野 弘子 議員
鷲見 達夫 議員
北村 正二 議員
伴 孝昭 議員
竹内 照夫 議員
津田 新三 議員
武田 平吾 議員
竹内 基二 議員
青山 三四郎 議員
後列右より
幸光 正嗣 議員
川口 正徳 議員
伊藤 茂 議員
近藤 眞弘 議員
中野 治郎 議員
八田 憲児 議員
桐田 真人 議員
草野 聖地 議員

幹事長 竹内 照夫

新春の候、市民の皆様におかれましては、輝かしい平成28年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は地方の活力を取り戻すため、国家戦略として提唱された地方創生により、地方を取り巻く環境が大きく変化したしました。それぞれの地方が持つ特色を生かしながら、自らが考え、自らの責任をもつて戦略を推進し、魅力あるまちづくりに取り組むことが求められております。

本市におきましても、少子・高齢化が進み、人口が減少局面に転じた今、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めるため、大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されたところであります。

本年は、平成19年度から進められてきた大津市総合計画基本構想の最終年であり、これまでのまちづくりを総括するとともに、新しい総合計画の策定に向けて議論を深める大変重要な年であります。わが会派は今後も三元代表制のもと、市議会最大会派としての使命を果たすべく、一致団結して市民の皆様の幸せのために努力を重ねていく所存でありますので、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって希望に満ちあふれた年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ごあいさつ

湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に大津の将来を創造します。

① 北村 正二
政調会長
道の駅「妹子の郷」が好評。和邇駅前
の道路整備も地域の皆様のご協力により
進みます。感謝と誠意を心がけ本年も
がんばります。

② 津田 新三
議長
まずは、議長の職責を全うすることに
全力を傾注します。
市民により開かれた議会に向けて、全国
で益々注目される議会を目指します。

③ 仲野 弘子
地域住民の皆様が切望している琵琶湖
大橋西詰から湖西道路真野に間の国道
477号の4車線化を目指します。

④ 武田 平吾
副幹事長
市内各地域の特徴を活かしたバランス
のとれたまちづくりを市民の皆様との信
頼関係を大切にしながら進めます。

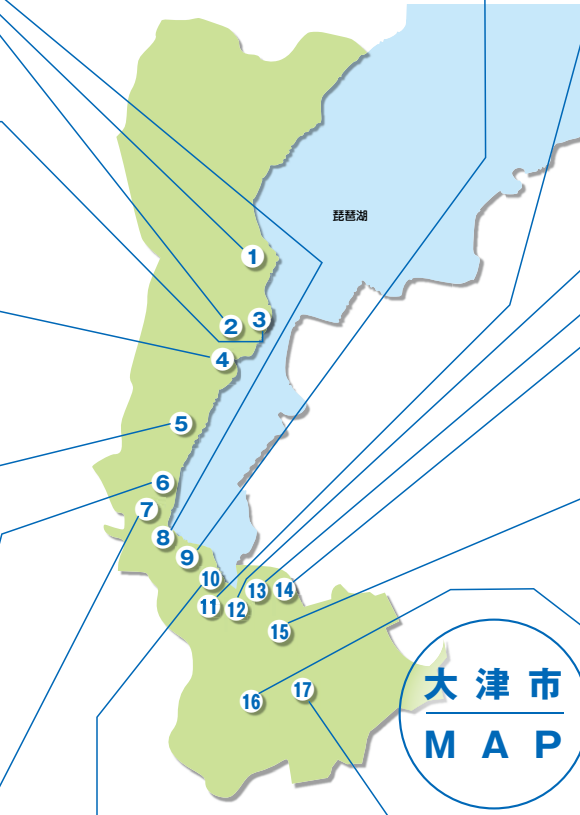
⑤ 中野 治郎
4つの約束・①県道比叡辻日吉線の拡幅
に全力投球②坂本の地域活性化③地域
に必要な幼児教育を応援④在宅医療・
介護連携を推進。

⑥ 八田 憲児
幹事
「市民が安心して暮らせる生活をつくる」
ため、これまでに培った経験を生かし、正
しい道徳心、倫理観、価値観を持ち、地
域に密着した議員活動に専念します。

⑦ 草野 聖地
子どもは、地域の未来です。地域の子ど
もたちの笑顔を増やし、それが、すべて
の人たちの元気につながるように最善
を尽くします。

⑧ 伴 孝昭
副議長
住み続けたいまちをめざして、地域の力
を生かした防災体制の充実やJR大津駅
周辺のまちづくりに取り組みます。

⑨ 竹内 照夫
幹事長
大津市議会最大会派の一員として、大津
市政の発展、市民福祉の向上のため全
力を尽くしてまいります。



⑩ 伊藤 茂
自己実現像は「ホッとのおっちゃん」で
す。今年も惻隱の情をもって皆様に安
らぎと癒しを与えられる人間を目指し
ます。

⑪ 竹内 基二
幹事
コミュニティ施設のバリアフリーやス
ポーツ施設の改修を進め、地域の歴史
を大切に、安心して暮らせるまちづく
りに努めてまいります。

⑫ 鷲見 達夫
副政調会長
市民の皆様が安心・希望のもてる大津を
目指し、今後も真面目に誠実に皆様と対
話を重ねてまいります。

⑬ 近藤 眞弘
人口増加に伴う東南部地域の諸課題に
取り組むことはもちろん、安全で安心・
活気と和みのある大津づくりに全力を
傾注します。

⑭ 幸光 正嗣
住んで良かったまち、住みたいまち大津
を目指し、地域に根ざした視点で皆様の
思い・お声を形にするべく全力で取り組
んでまいります。

⑮ 桐田 真人
「初心忘るべからず」を基本とし、これか
ら真面目に丁寧に議員活動に取り組
み、ひとつひとつ結果を積み重ねる確
かな政治を行います。

⑯ 青山 三四郎
・生み、育てやすい大津市
・住みやすい環境をつくる大津市
・若者を呼び込める大津市
・女性が活躍しやすい大津市 を目指します。

⑰ 川口 正徳
大津市南部地域の活性化や地域振興対
策、ならびに災害に強い「まちづくり」に、
一生懸命取り組みます。

11月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。
詳しくは天津市議会ホームページをご覧ください。

Q 青山三四郎議員

●総合教育会議に対する市長の考え方について

総合教育会議は、市長と教育委員がよりよい教育行政を行うために議論をオープンに行う会議であるが、本会議の招集に対する市長の考えを伺う。

A 本市では改正地方教育行政法の施行日をもって早々に総合教育会議を設置し、教育振興のために積極的に活用するものと捉え、これまで12回にわたり教育に係る大綱の策定や学力向上策、いじめ問題などの教育課題をテーマに協議を重ねてきた。これは他の中核市と比べても非常に充実した取り組みであり、教育委員会との連携を密にした教育行政が深められていると認識している。

Q 八田 憲児議員

●市営住宅の浴槽設備について

本市の市営住宅では、入居者の高齢化により銭湯まで歩くことができず入浴困難な方が増えている。本市は市営住宅に入居されている高齢者の生活環境を向上させるため、共同浴場の設置や浴室スペースのある住宅への浴槽設備の設置など、その対策を講じていくことが必要と考えるが、今後どのような方針で取り組むとされているのか聞く。

A 高齢者の生活環境を向上させることは、重要であると認識しており、市営住宅の今後の高齢者施策の方針については、短期的に特定目的住宅の拡充に努める。更に、共同浴場の設置については、平成28年度策定予定の（仮称）大津市住宅マネジメント計画の中で中長期的に検討していく。

Q 川口 正徳議員

●老朽、狹隘橋梁の掛け替え促進について

稲津橋については老朽化が著しく、また、狹隘により交通に多大な障害となっている。市民が安心して暮らせる生活道路の早期整備実現を強く望むものであるが、今後の予定を伺う。

A 稲津橋の老朽化対策として、過年度からの点検・調査結果に基づき、橋梁本体部の劣化の進行を防止するための補修工事を今年度実施する。

また、併せて桁部の異状を常時監視するためのモニタリング装置を設置する予定である。

Q 伊藤 茂議員

●中高年の就労支援について

高齢者及び定年を迎えた高齢者予備軍の方への就労支援について、短時間労働で、定年退職者等の就労支援の取り組みについて伺う。

A 高齢者等就職希望の全市民を対象に、16支所で産業就労コーディネートによる移動労働相談会の実施、ハローワークと連携し最新の求人情報を利用し、求職者に情報提供、今年度から高齢者等と保育施設など人手不足の事業所をマッチングさせる「高齢者生きがい就業事業」の実施、高齢者等の短時間勤務について、メニューの発掘及びコーディネート業務をシルバー人材センターに委託し、生きがいづくりと健康寿命の延伸に努めている。

Q 中野 治郎議員

●第6期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進について

本計画における市内フロッグの多職種地域医療連携の進捗状況と、老朽化が著しい養護老人ホームの施設整備の支援に対する市の考えを伺う。

A 在宅医療・介護連携の推進を目的とした多職種合同研修会で連携を図るとともに、地域の見守りなどの支援体制の構築に向けて推進していく。

また、市内2カ所の養護老人ホームは老朽化が進んでいる上、現在相部屋であり、処遇に配慮した施設改築が必要ことから、本計画で改築の検討の必要性を掲げるとともに、改築時には個室化整備について指導を行う。

Q 鷺見 達夫議員

●大津市空き家等の適正管理に関する条例の運用・危険性の把握について

（仮称）大津市空き家等の適正管理に関する条例の運用についてどのような手法で臨むのか。また、空き家やその危険性の把握などどのように対応するのかを伺う。

A 法律や条例の運用手法と空き家及び危険性の把握については、まず手法としては、危険、有害空き家の管理者に改善の指導を行い勧告や命令を経て、行政代執行に至ることになる。空き家の実態把握については現地調査を実施し、危険性等を判断していく。

Q 仲野 弘子議員

●都市計画道路本堅田衣川線の早期事業化について

堅田駅西口土地区画整理事業と連動した都市計画道路は、順次事業化されているが、本堅田衣川線は未着手である。本年度の取り組み状況と平成28年度以降の整備予定について伺う。

A 本都市計画道路は、朝夕の混雑の緩和や通学路としての安全確保、観光振興の観点から早期に事業化を図りたい。既に都市計画決定の変更並びに事業認可に向けての予備設計を実施しており、今年度は滋賀県と協議している。今後は、平成28年度に事業認可を受け、道路の測量設計を実施するため、国の交付金の確保に努めていく。

Q 草野 聖地議員

●宿泊施設として民家を提供する「民泊」について

「民泊」について市条例の検討、また、空き家を活用した既存宿泊業者などの協業によるパッケージサービスとしての大津型・民泊について市の考えを伺う。

A 国において「民泊サービス」について検討が始まった。大津市は、来訪者の滞在時間の延長と観光消費額の増加を目的に、着地型商品の開発を進めている。国の動向をみながら、宿泊業者などと協議しながら進める。

Q 近藤 眞弘議員

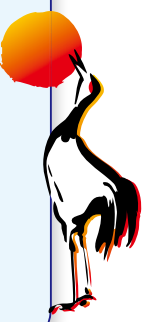
●道路標識等の安全点検と道路管理予算について

倒れていた道路標識を移動させようとして、小学生が指をはさまれるという事故が発生した。本市が管理する標識類や街路樹等は適正に管理されているか。また学区要望の多い道路維持管理が徹底されているか。また道路管理予算には十分配意し、予算に応じた人員配置について伺う。

A 平成25年度に路面舗装状態や道路付属物の道路ス

トック総点検を実施し、修繕計画に基づき順次補修工事を実施している。またパトロール、目視、市民の情報提供で随時補修している。街路樹診断調査は年次的に実施し危険性のあるものは伐採を行う。

市道の維持管理をめぐる課題は認識しており、今後も財政状況と照らしながら予算と人員の確保に努める。



3年連続の快挙!

2015マニフェスト大賞

「優秀成果賞」を受賞

議会MRM
Mission Road Map
大津市議会実行計画



表彰を受けた津田議長と竹内委員長

地方自治体や首長、議会などの先進的な活動や優れた取り組みを表彰する2015マニフェスト大賞に、大津市議会ミッションロードマップが優秀成果賞を受賞しました。これを受けて昨年11月、東京で授賞式が行われ、大津市議会からわが会派の津田新三議長と竹内照夫議会運営委員会委員長が出席し、表彰を受けました。

大津市議会は、平成25年度には全国の議会のトップとなる議会グランプリを、平成26年度には審査委員会特別賞をそれぞれ受賞、今年で3年連続の受賞となりました。

（仮称）がん対策推進条例の
制定に向けて検討中!

大津市議会では現在、（仮称）がん対策推進条例の制定に向けて、わが会派の仲野弘子議員を座長に、八田憲児議員を委員として、政策検討会議で熱心な議論を続けています。会議では、市民病院の視察や医師会との意見交換会、パブリックコメントを実施するなど、多様な観点から見識を深めながら、条例の制定に向けた課題などを検証しています。

今後とも、

平成28年2月

通常会議での

制定を目指し

て、引き続き

議論を進めて



政策検討会議全体会で
中間報告する仲野座長